

設備更改プロジェクト（JP5版）  
ガイドライン  
【設備更改概要編】  
v1.0.2



2026年3月3日  
NTTドコモビジネス株式会社

# 更新履歴

つながり。驚きを。幸せを。



版数	更新日	更新内容
1.0.0	2025年10月23日	<ul style="list-style-type: none"><li>初版作成</li></ul>
1.0.1	2025年11月28日	<ul style="list-style-type: none"><li>本ガイドラインの位置づけ：内容を修正</li><li>移行スケジュール：内容を追加</li><li>サービスごとの移行方法について：内容を修正</li></ul>
1.0.2	2026年3月3日	<ul style="list-style-type: none"><li>資料分割</li><li>本ガイドラインの位置づけ：内容を修正</li><li>本ガイドラインの構成：ページを削除</li><li>本ガイドラインご利用上の注意事項：ページを削除</li><li>お問い合わせ方法：内容を修正</li></ul>

# 目次

- 本ガイドラインの位置づけ
- 新基盤への移行によるメリット
- 新基盤における仮想サーバーに関する強化ポイントの詳細
- 移行スケジュール
- お問い合わせ方法

# 本ガイドラインの位置づけ

- 既存のSDPF クラウド/サーバー（旧Enterprise Cloud2.0）につきましては提供から10年以上が経過しております。その間、新しいテクノロジーの導入を進めており、2021年6月のJP7からは大容量化等を実現した新基盤にて提供しております。
- JP5につきましてもソフトウェアの更新などを進めておりましたが、各種構成機器およびソフトウェアのサポート期限の問題等から、新基盤へバージョンアップすることとなりました。ご利用中のお客様には安心して引き続きご利用いただくために、新基盤へのバージョンアップのご協力をお願いいたします。
- 本ガイドラインは、設備更改の概要について記載しております。

# 新基盤への移行によるメリット

- 提供メニューについて、新基盤は、現行基盤と基本的には同様のメニューを提供いたします。なお、一部サービスやOSはすでに提供が終了しているものもございますので、それらについてはアップグレードが必要となります。

## 新基盤における強化ポイント

## 解決できる課題



### 基本性能向上

- サーバー/ネットワーク/ストレージの性能向上(1.5~3倍)
- 最新世代のCPUを採用した物理サーバーの提供
- 大容量メモリを搭載した仮想サーバーの提供
- 1リージョンあたりの収容上限拡大(1.4倍)



### 高セキュリティ

- 新バージョンのOS/ソフトウェアの提供
- 仮想サーバーの暗号化機能の提供



### 機能拡充

- 安価にWasabiと閉域接続する機能の提供
- GPUを搭載した物理サーバーの提供



### 信頼性向上

- ネットワークアーキテクチャ変更に伴う、想定外の両系断障害の軽減 (30件/6年 → 0件)
- ストレージアーキテクチャ変更による信頼性向上

クラウド利用拡張の際、現行基盤ではサービスの収容限界によりできなかったリソース拡張ができる

サポートの切れたOSから、最新のOSへのアップデートができる

オンプレサーバーの保守更改により費用増加したため、代替策として検討できる

# 新基盤における仮想サーバーに関する強化ポイントの詳細

## 仮想サーバーの基盤性能向上

仮想サーバーメニューでは新しいハードウェアを採用することで、より高い性能の仮想サーバーのご提供を開始しております。新基盤に移行していただくことにより、ご利用可能となります。主な変更は下記のとおりです。

#	メニュー	フレーバー変更	性能変更	価格変更
1	サーバーインスタンス Compute	v1からv2フレーバへ変更	CPU性能が <b>最大約70%*</b> 向上 ※お客様がご利用の仮想サーバーにより 性能向上率は異なります	CPU:メモリー比が、1:2、1:4フレーバーのみ <b>約3~4%増</b> ※1:8, 1:16は据え置き
2	サーバーインスタンス Volume	Type-AからType-B変更	IOPSは <b>約30%</b> 、Throughputは <b>約100%</b> の性能向上	300GB以上のフレーバーのみ <b>約10%増</b> ※300GB未満は据え置き

## 移行期間における料金減免措置

基盤更改の対象リージョンにつきましては、移行処置として料金負担軽減を**自動で適用**します。

料金：新メニューの料金を既存メニューと同額に減免

期間：新基盤への移行終了時から2028年7月末(移行期間終了日の半年後)まで



# 移行スケジュール

- JP5リージョンは東京第2データセンターから埼玉第1データセンターへ設備更改する関係上、2026年4月～2028年1月末までを移行期間としております。
- 以下表の現行基盤サービス終了日を超えて、新基盤への移行が完了していなかった場合は、弊社にて解約のお手続きをさせていただきます。解約処理が完了するとリソースが削除されますので、ご注意ください。
- JP5リージョンは、2021年4月に新規テナント作成の停止を実施、作成済みテナント内のリソース追加については在庫限りで引き続き可能な状態です。詳細はこちらをご参照ください。

<https://sdpf.ntt.com/news/2021041901/>

【表2】各リージョンの移行スケジュール表

基盤構成	リージョン	データセンター（現行）		データセンター（新基盤）	新基盤サービス開始日	現行基盤サービス終了日
現行基盤	JP5	東京第2データセンター	→	埼玉第1データセンター	2026/4/1	2028/1/31
新基盤	JP7	東京第11データセンター	（対象外）	-	-	-
	JP8	大阪第7データセンター	（対象外）	-	-	-
	JP9	埼玉第1データセンター	（対象外）	-	-	-

# お問い合わせ方法

- 本件に関するお問い合わせは、ビジネスポータル画面からチケットにて受け付けております。
- チケットによるお問い合わせ方法について、詳細はこちらをご参照ください。

<https://sdpf.ntt.com/services/docs/support/tutorials/ticket/ticket.html>

- 移行方法や手順に関しては、お問い合わせ種別にて、「General Inquiry(設備更改のガイドラインおよび手順書に関するお問い合わせ)」を選択してください。
- 移行に関連する不具合事象(移行ツールが動作しない、移行後の不具合など)については「Incident Submission」を選択してください。
- 次ページ以降で画面イメージも併せて記載した手順を記載しておりますのでご確認ください。
- チケットによるお問い合わせでは、本件に関するお客様および再販先協力会社さま向けのサポートを行います。
  - \* 移行ガイドライン/移行手順書の中身に関するご質問
  - \* お客様と弊社の役割に関するご質問

# お問い合わせ方法

- ・ビジネスポータルへログインし、故障・お問い合わせの新規作成を選択します。

NTT docomo Business | NTTドコモビジネスの法人ご契約者向けサイト  
ビジネスポータル

ご契約中のサービスから選ぶ | 最近の操作・ピン留め **NEW** | ポータル管理者向け

お知らせ | お問い合わせ | マニュアル

🕒 最近の操作 すべて >

📢 お知らせ すべて >

公開日	サービス名	件名
2022年3月3日 JST	Arcstar Universal One	アナウンス追加テスト
2022年2月24日 JST	Arcstar Universal One	<編集>Djangoバージョンアップ確認 ALL
2021年11月12日 JST	お客さま体感品質モニ...	<編集>Djangoバージョンアップバリデーションエラー確認
2021年10月19日	Arcstar SIP Trunking	IPte

🚨 故障・お問い合わせ (0件) 新規作成 すべて >

現在、対応中の故障・お問い合わせはありません。

📄 お申し込み進捗 (0件) すべて >

現在、未完了のオーダーはありません。

**お客様の声を反映しました** 付箋メモ

- ・ 8/28 BOCN IPoEのステータスダッシュボード機能が追加されました(再掲)
- ・ 8/27 【OCN for Business】ステータスダッシュボードを提供開始しました
- ・ 8/26 【Arcstar IP Voice】電話番号検索画面の検索結果をCSVダウンロード可能にしました

→過去のお客さまの声による改善

**ビジネスポータルを使いこなす**

ビジネスポータルをより便利にお使いいただける機能の一部をご紹介します。

**Arcstar Universal One**

- ・ ネットワーク設定の変更 (拠点のNWアドレス、フィルタリング、DNS等。数十分/無料)
- ・ 回線故障?と思ったときの回線調査
- ・ 回線契約お申し込み時の進捗状況確認

# お問い合わせ方法

- 「サービスに関するポータル内機能の操作方法や不具合、サービスの故障や仕様に関するお問い合わせ」を選択し、「サービス選択へ進む」を押下します。

**新規お問い合わせ作成** [お問い合わせ機能のご利用方法](#) [故障・お問い合わせ一覧](#)

お客さまに適切な窓口をご案内するため、まず、下記のどちらに該当するかご選択ください。

- サービスに関するポータル内機能の操作方法や不具合、サービスの故障や仕様に関するお問い合わせ**  
各サービスが提供する機能の操作方法やその不具合、サービスの故障や仕様に関するお問い合わせなどはこちらを選択してください。  
対象：Smart Data Platform
- ログイン・サービス名や契約が表示されない・ユーザー管理方法に関するお問い合わせ**  
ビジネスポータルにログインできないなどログインにお困りの場合、メニューの表示不具合、ユーザー登録／ユーザーグループ登録などのお問い合わせはこちらを選択してください。

[サービス選択へ進む >](#)

# お問い合わせ方法

- 「Smart Data Platform」を選択し、「内容の入力へ進む」を押下します。

 **新規お問い合わせ作成** i [お問い合わせ機能のご利用方法](#)  故障・お問い合わせ一覧 ×

お問い合わせしたいサービス名を選択してください。

Smart Data Platform  Smart Data Platform

# お問い合わせ方法

- お問い合わせを行いたいメニューを選択し、「内容の入力へ進む」を押下します。  
※以下画像では、例として「Arcserve Cloud Direct」を選択しています。



The screenshot shows the NTT Docomo Business portal interface. At the top, there is a search bar and navigation links. The main content area is titled 'Smart Data Platform 新規お問い合わせの作成' (Smart Data Platform New Inquiry Creation). It features several sections for selecting services:

- プラットフォームサービス** (Platform Services): Includes 'Enterprise Cloud for ERP' (selected) and 'IaaS Powered by VMware'.
- パートナークラウド** (Partner Cloud): Includes 'Power Systems', 'Hybrid Cloud with Microsoft Azure', 'Hybrid Cloud with GCP', and 'Hybrid Cloud with AWS'.
- バックアップ** (Backup): Includes 'Arcserve Cloud Direct' (selected and highlighted with a red box).
- 構築/開発ツール** (Build/Development Tools): Includes 'WebRTC Platform SkyWay'.

At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '内容の入力へ進む' (Proceed to Input Content), with the latter highlighted by a red box. A chat icon is visible in the bottom right corner.

# お問い合わせ方法

- お問い合わせを行いたい種別を選択し、「内容の入力へ進む」を押下します。  
選択肢は以下となります。
    - 移行方法や手順に関しては、「General Inquiry(設備更改のガイドラインおよび手順書に関するお問い合わせ)」を選択してください。
    - 移行に関連する不具合事象(移行ツールが動作しない、移行後の不具合など)については「Incident Submission」を選択してください。
- ※以下画像では、例として「General Inquiry(設備更改のガイドラインおよび手順書に関するお問い合わせ)」を選択しています。

The screenshot shows the NTT docomo Business portal interface for creating a new inquiry. The page title is "新規お問い合わせの作成(Smart Data Platform)". The process is divided into five steps: 1. ご契約選択, 2. メニュー選択, 3. お問い合わせ種別 (highlighted), 4. 内容入力, and 5. 完了. In step 3, the "お問い合わせ種別" (Inquiry Type) is selected. The "必須" (Required) field shows the contract number and category. The "種別" (Type) section has three options: "General Inquiry", "Incident Submission", and "General Inquiry(設備更改のガイドラインおよび手順書に関するお問い合わせ)". The third option is selected and highlighted with a red box. Below the options, there is a note: "※こちらは設備更改(特設サイト)対象のお客さま専用の「お問い合わせ種別」です". At the bottom, there are two buttons: "戻る" (Back) and "内容の入力へ進む" (Proceed to Content Input), with the latter highlighted by a red box. A chat icon is visible in the bottom right corner.

# お問い合わせ方法

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

- 必要事項を入力してください。

 NTTドコモビジネスの法人ご契約者向けサイト  
ビジネスポータル

ご契約中のサービスから選ぶ    最近の操作・ピン留め **NEW**    ポータル管理者向け

お知らせ    お問い合わせ    マニュアル

このページを印刷する    このページに対するご意見

件名	必須	<input type="text"/> (160文字以内)
ワークスペース	必須	<input type="text"/>
リージョン	必須	-
テナントID	必須	<input type="text"/>
注意事項		<p>上記「詳細分類」を変更すると、「詳細」欄の記載内容がクリアされますのでご注意ください。 お問い合わせ内容にプログラムコードや SQL 文等を含む場合には、 セキュリティ上の理由でチケット作成時にエラーが発生する場合がございます。 テキストファイルとして添付いただくことでチケット作成が可能です。</p> <p>お客さま環境の設計・構築・パフォーマンスチューニングや、 お客様が個別に導入したアプリケーションの検証などの技術サポートやお問い合わせは対象外とします。</p>
詳細	必須	<input type="text"/>



# お問い合わせ方法

- お問い合わせ更新時の通知先を選択し、「お問い合わせを作成する」を押下します。  
※チケット作成が完了した後、通知先として選択したメールアドレスへ受付完了メールが送信されます。



NTT docomo Business | NTTドコモビジネスの法人ご契約者向けサイト  
ビジネスポータル

ご契約中のサービスから選ぶ | 最近の操作・ピン留め **NEW** | ポータル管理者向け

お知らせ | お問い合わせ | マニュアル

Home / Smart Data Platform 新規お問い合わせの作成 | このページを印刷する | このページに対するご意見

お問い合わせ更新時の通知先 **必須** お問い合わせ更新時の通知先を選択して編集してください。

キーワード検索

追加 →

← 削除

戻る | **お問い合わせを作成する**

つなごう。驚きを。幸せを。

 <sup>NTT</sup> docomo **Business**